

平成28年3月期決算参考資料

1. 連結業績の推移

連結業績

(単位：百万円)

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	前期比	平成29年3月期 予想
売上高	3,365	4,148	23.3%	4,772
売上総利益	1,315	1,425	8.4%	1,845
(売上総利益率)	(39.1%)	(34.4%)	4.7pt	(38.7%)
(販売管理費率)	(34.7%)	(28.9%)	5.8pt	(28.1%)
営業利益	147	226	53.7%	506
(営業利益率)	(4.4%)	(5.5%)	1.1pt	(10.6%)
経常利益	226	203	10.5%	525
親会社株主に帰属する 当期純利益	131	124	5.1%	361

国内海外別売上高 連結

(単位：百万円)

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	前期比	平成29年3月期 予想
国内売上	1,988	2,405	20.9%	2,898
海外売上	1,376	1,743	26.7%	1,873
計	3,365	4,148	23.3%	4,772

注) 上記海外売上区分に属する主な国：アメリカ、カナダ、中華人民共和国、オーストラリア、イギリス

研究開発費・設備投資

(単位：百万円)

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	前期比	平成29年3月期 予想
研究開発費	281	269	4.3%	266
設備投資額	690	298	56.8%	577
減価償却実施額	111	156	41.1%	209

その他

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	前期比	平成29年3月期 予想
為替レート(1US\$)	109.90円(平均)	120.15円(平均)	-	110.36円(期末)
為替レート(1)	176.78円(平均)	181.35円(平均)	-	157.32円(期末)
従業員数(期末)	211名	279名	32.2%	-
臨時従業員数(平均)	82名	100名	22.0%	-

【注意事項】

本資料は発表済の決算内容や業績予想について補足的に説明するものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。今後の業績は前提の変化により予想と異なる可能性があります。

2. 連結業績の概要

前年同期比で売上高が 23.3%の増収、損益面では営業利益が 53.7%の増益となりましたが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。詳細は決算短信資料を合わせてご参照ください。

売上高

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の追加金融政策等が実施され、企業収益、また個人所得や雇用情勢等の改善傾向が見られたものの、中国経済の減速や原油価格の下落、さらには年明け以降の為替市場の不安定な動向の影響などから、世界経済の先行きの不透明感が増して、依然として予断を許さない状況にあります。

カーアフターマーケットにおきましては、前述の安定感を欠く景気動向や自動車販売台数が前年実績を下回る状況の中でも消費に力強さが見られました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、国内では平成 27 年 1 月に販売を開始した新機構（ハイドロ・バンプ・ストッパー（H.B.S.））を搭載する「FLEX A」、また国内生産でありながら驚異的とも言えるリーズナブルな価格を実現した「FLEX Z」の販売活動をより一層強化し、また国内最大のアフターマーケット用品のイベントへ継続的に出展するとともに、店頭販売促進品や宣伝用動画コンテンツの充実にも力を注ぎました。一方、海外においては子会社を中心とした現地販売会社との緊密な連携、各地の代理店への営業強化、各地域の特性に適した各種多様なキャンペーンなどにも注力しました。これら各種の活動が奏功し、通期の売上高は前期と比較して 23.3%の増収となりました。

営業利益、経常利益、当期純利益

営業利益は、前述の増収に対して販売費及び一般管理費が前期と同等であったことから増益となりました。しかしながら経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前期における為替差益と今期における為替差損の影響から減益に転じました。

【注意事項】

本資料は発表済の決算内容や業績予想について補足的に説明するものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。今後の業績は前提の変化により予想と異なる可能性があります。

お問合せ先
株式会社ティン 管理課（IR担当）
TEL 045(810)5511